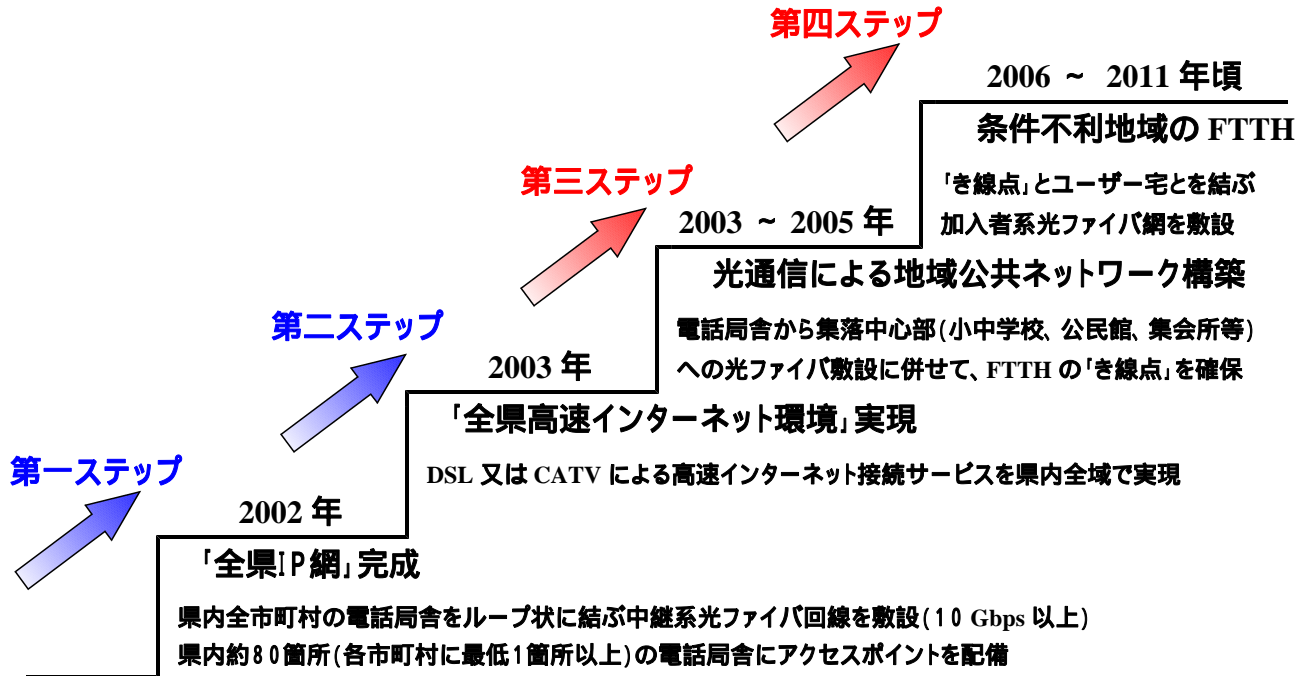


「島根県における情報通信インフラの発展シナリオ」

島根県地域振興部情報政策課



具体的な実現方策

第一ステップ: 民間通信事業者(NTT西日本・エネルギーコム)の設備投資を誘導

- ・行政、産業界、県民を挙げて通信需要を喚起
- ・「しまねフロンティアネットワーク」の再構築に当たって、民間の光通信サービスを調達

第二ステップ: 地域ISP(プロバイダ)のDSL設備投資に対する財政支援

- ・「市町村IT化総合推進補助金」により、条件不利地域におけるDSLを実現
- ・地域ISP(プロバイダ)のDSL機器設置費及び簡易局舎整備費に対して補助金を交付

第三ステップ: 市町村合併を見据えた地域公共ネットワーク構築による光通信サービスの調達

- ・地域公共ネットワーク構築に当たって、伝送路を自設するのではなく民間の光通信サービスを調達
- ・民間通信事業者は公共施設への加入者系光ファイバ敷設に併せて、FTTHに向けた「き線点」を確保

第四ステップ: 民間通信事業者のFTTH設備投資に対する財政支援(検討中)

- ・第三ステップを前提として、民間通信事業者によるFTTH実現のための新たな財政支援制度を検討(例)「き線点」とユーザー宅を結ぶ加入者系光ファイバ網敷設費に対する直接補助、投資促進税制等

FTTH (fiber to the home): 光ファイバをユーザー宅まで直接引き込むことによって 100Mbps 程度の超高速インターネット接続サービスを利用できるほか、光波長多重技術を用いたテレビ放送の視聴も技術的に可能。